

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 22 日現在

機関番号：32510

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370699

研究課題名(和文) 小学校英語教育における教員養成・研修推進のための言語教師認知研究

研究課題名(英文) Studies on Language Teacher Cognition to Develop Teacher Education in Elementary School English Education

研究代表者

田中 真紀子 (Tanaka, Makiko)

神田外語大学・外国語学部・教授

研究者番号：40236633

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：2020年の教科化を目前に、養成段階の学生、及び小学校教員共に文字指導の必要性を感じ、小学校教員に関しては文字の読み方を教えたい気持ちがある一方、指導法がわからないという現状と、またどのような活動をどのようにレッスンに組み入れたらいいか分からないと感じている現状が明らかとなった。研修に関しては、これまでのような即席の授業から、より英語力や英語技能の向上、指導技術の習得を研修で望む傾向があることが分かった。さらに、小学校教員は、文字指導の内容や方法に関して、はっきりした指針を求めていることが分かった。文科省は教科化を前に、読み書きの具体的な指導内容と方法に関して早急に指針を示す必要がある。

研究成果の概要(英文)：English is going to be introduced officially into an elementary school curriculum as a subject, and both college students taking the teacher education courses and elementary school teachers feel a strong urge to teach children alphabet letters. The latter have desires to teach letters to children, but it has become clear that they do not have skills of how to teach letters, and how to incorporate it and create lesson plans. Teachers now are recognising English skills and English teaching skills to conduct effective lessons, but at the same time they are at a loss what to do with teaching of letters as there is no specific directions about it. The Ministry of Education, Culture, Sports, and Technology should clearly indicate its objectives and goals regarding reading and writing of letters (and words) as clearly and as soon as possible for a successful English Education of the years coming ahead of us.

研究分野：英語教育、児童英語教育、認知発達、教師教育

キーワード：英語教育 児童英語教育 教師教育 教員研修 文字指導 教師認知

1. 研究開始当初の背景

指導者養成・研修は2011年に公立小学校5、6年生を対象に外国語活動が導入される以前から教師教育や小学校教員の人材育成を目的に行われてきていたが、養成段階の学生や現場教員が不足している知識やスキルが何かを実証的に解明し、その成果を反映させて作成されたものではない。一方で、より効果的な英語教育を推進するために、養成段階の学生、及び現場教員の知識やスキルを強化、補強するプログラムの開発が急務となっていた。

本研究は、養成段階の学生、そして現場教員の教師認知を明らかにし、養成・研修プログラムの開発・発展を推進する枠組みを提供すべく行われた。

2. 研究の目的

本研究は、教員養成課程の学生、及び小学校教員が小学校英語教育に関してどのような考え、信条を持っているか調査し、そこから教員養成や教員研修の指導内容・方法を開発して、教員研修という形で還元することを目的としている。

本研究は平成25年の初年度から平成27年の最終年度まで、養成段階の学生に対する研究に関しては以下(1)(2)、現場教員に対する研究に関しては(3)(4)(5)(6)(7)を行った。尚、(4)(5)(6)は現在学会に向けて準備中、また(7)は調査進行中である。

- (1) 国内の小学校での実習を経験した神田外語大学児童英語教員養成課程の学生は、小学校における文字指導と文法指導に関してどのような教師認知を形成したか研究。
- (2) 海外の小学校で実習に参加した学生を対象として、実習中の課題であったポートフォリオの作成が果たす役割を動機付けの視点から研究。
- (3) 小学校教員は児童に文字(アルファベットの名前と音、簡単な語の読み書きなど)を何学年でどの程度まで指導したら良いと考えているか研究。
- (4) 小学校教員は文字指導に関してどのような考えや信条を持っているか研究。
- (5) 2020年の英語教科化を目前にして、小学校教員が必要な知識、技能、指導技術は何か、また、教員自身が望んでいる研修はいかなるものか研究。
- (6) 海外の小学校で教育実習に参加した学生を対象に、学生自身のティーチャートークと英語スピーキングとの関連性に

ついての研究。

- (7) 千葉県船橋市英語教育推進事業で「児童・生徒の英語学習に対する意識や英語力を把握・検証」する。そして、結果をもとに「実態に合った指導方法や評価方法の工夫・改善を図る」。本調査は平成27年2月に始まり、現在継続中である。

3. 研究の方法

- (1) 2の(1)の研究では、平成24年度に千葉県内の小学校で英語活動学習サポーターとして「教育実習」を行った学生24名にアンケート調査を行った。
- (2) 2の(2)の研究では、平成25年に本学(神田外語大学)「児童英語教員養成課程」の海外実習(於カリフォルニア州トーランス)の小学校に参加した学生15名を対象に、海外実習を通しての意識の変容と海外実習の成果をポートフォリオに含まれる実習日ごとの自己評価やリフレクション等を使って質的・量的に分析した。また5名に対しインタビュー調査を行った。
- (3) 2の(3)の研究では、平成26年度千葉県教育委員会主催小学校外国語活動担当中核教員研修後、92名を対象に「教科化に向けた文字および文法指導」に関してアンケート、及び11名対象にインタビューを行い、それぞれ量的・質的に分析した。
- (4) 2の(4)の研究では、平成27年度に行った千葉県教育委員会主催の小学校外国語活動担当中核教員研修(187名)、福井県教育委員会主催小学校外国語活動教員研修(58名)、東京都江戸川区小学校英語部会研修(22名)に参加した小学校教員267名を対象に文字指導に関するアンケート調査を行った。また質問項目を統計的に分析し、研修に参加した教員15名にインタビューを行った。
- (5) 2の(5)の研究では、(4)の3都県の小学校教員に、英語力、技能、指導技術に関して、小学校の教員に必要とされる研修と、教員自身が望む研修をアンケート調査した。また研修に参加した教員15名にインタビューを行った。
- (6) 2の(6)の研究については、平成25年~27年に本学(神田外語大学)「児童英語教員養成課程」の海外実習(於カリフォルニア州トーランス)の小学校に参加した学生37名を対象に、スピーキングテストの発話をCAF法を用いて分析した。また、教師としての意識については、ポートフォリオ、振り返り、インタビューな

どによって分析し、スピーキングとの関連性を検証した。

- (7) 2の(7)の研究では、千葉県船橋市教育委員会協力のもと、船橋市内の小学校 54校から5、6年生を1クラスずつ、及びその担任と日本人補助教員、ALT、中学校 27校より、1年生1クラスずつ、及びそのクラスを担当している英語教員対象に、アンケート調査、小学生には英語語彙テストと文字テストを7月に実施。現在進行中。

4. 研究成果

- (1) 2の(1)の研究では、学生は教育実習を通じて文字指導を積極的に取り入れることが望ましいと考えるようになったこと、そして、文法の基礎を教えるべきかという項目については学生の判断が分かれ、その背景には教育実習の経験だけでなく、学生自身の過去の学習経験が関与することが明らかになった。
- (2) 2の(2)の研究では、実習生はポートフォリオの作成を通じて動機付けを生み出し、維持し、そして、実習後の学びに向けて肯定的に自身の実習の成果を振り返っていたことが分かった。
- (3) 2の(3)の研究では、小学校教員は、アルファベットを教える時期については、大文字・小文字ともに名前は3年生、しかし音については5年生で教えるのがふさわしいと、名前と音を切り離して考えている傾向があることがわかった。これらの傾向から入門期の英語学習者に対する文字指導のあり方を再考し、小学校教員の文字指導に対する意識を抜本的に変えていく必要があることが明らかとなった。
- (4) 2の(4)の研究では、小学校教員は、児童が読み書きに対する要望を持っていることを認識しており、子どもが英語を読めるようにしてあげたいと思っているが、読み書きの指導法がわからない現状が明らかとなった。また、指導法を知らないが故に文字の指導は、子どもの英語嫌いを招くと思っている。児童に対する読み書きの指導法を今後研修の中に取り入れていく必要がある。
- (5) 2の(5)の研究では、小学校教員は小学校で英語を指導する教員が英語力、技能、指導技術の3つの領域に関してほぼ同程度の高い数値で、研修を受ける必要があると回答している。一方で自

分自身が望む研修に関しては、それを上回り統計的に有意となった。小学校教員は、これらの3領域の研修が小学校教員に必要なと感じている以上に、自分自身が強く研修を望んでいることが分かった。

- (6) 2の(6)の研究については、教員研修に参加した学生のティーチャートークと英語力に関する能力が彼らの英語の流暢性を高めることに影響していることが明らかとなった。
- (7) 2の(7)の研究に関しては、船橋市内の小学校、5年生1クラスにてアンケート及び語彙・文字テストの予備調査が終わり、本調査を7月に実施する予定。

まとめ

2020年の教科化を目前に、養成段階の学生も、小学校の教員も共に文字指導の必要性を感じ、小学校教員に関しては文字の読み方を教えたい気持ちがある一方、指導法がわからないという現状と、またどのような活動をどのようにレッスンに組み入れ、どのような流れで進めたらいいかわからないと感じている現状が明らかとなった。研修に関しては、これまでのような即席の授業から、より英語力や英語技能の向上、指導技術の習得を研修で望む傾向があることが分かった。さらに、小学校教員は、文字指導の内容や方法に関して、はっきりした指針を求めていることが分かった。文科省は教科化を前に、読み書きの具体的な指導内容と方法に関して早急に指針を示す必要がある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計1件)

田中真紀子・河合裕美(2016).「文字指導に対する小学校教員の意識 - 千葉県中核教員研修後のアンケート結果から - 」*JES Journal* 16, 163-178. 査読有

[学会発表](計9件)

田中真紀子・河合裕美(2015)「小学校教員が考える外国語活動 - 文字指導と文法指導についてのアンケート調査結果から」神田外語大学英语教育公開シンポジウム. 神田外語大学(千葉)2015年9月25日.

田中真紀子・河合裕美・西野孝子・本多正敏 (2015). 「文字指導に対する小学校教員の意識 - 千葉県中核教員研修語のアンケート結果から - 」第 14 回 JES 小学校英語教育学会. 広島大学 (広島) 2015 年 7 月 25 日～2015 年 7 月 26 日.

Tanaka, M., & Honda, M. (2014). Overseas teaching practicum and its effectiveness for teacher education. *The 12th International Asia TEFL Conference and 23rd MELTA International Conference*. Borneo, Malaysia. 2014 年 8 月 28 日.

Tanaka, M., & Honda, M. (2014). Effects of portfolio as motivational tools for pre-service teachers to learn English and teaching skills through an overseas teaching practicum. *American Association for Applied Linguistics (AAAL)*. Portland Marriot Downtown Waterfront (Portland, Oregon, USA). 2014 年 3 月 23 日.

田中真紀子 (2014). 「教科化に伴う小学校英語教育の展望」(招聘講演) 第 14 回千葉カリキュラム学会. 敬愛大学 (千葉) 2014 年 1 月 11 日.

Honda, M., & Tanaka, M. (2013). Pre-service teacher cognition and program development. 第 38 回全国語学教育学会 (JALT). Kobe Convention Center (兵庫). 2013 年 10 月 26 日.

田中真紀子 (2013). 「アメリカの小学校での海外実習における学生の意識の変容」神田外語大学外国語能力開発センター主催英語教育ワークショップ at プリティッシュヒルズ プリティッシュヒルズ(福島) 2013 年 8 月 22 日.

田中真紀子・本多正敏 (2013). 「アメリカの小学校での海外実習における学生の意識の変容 - ポートフォリオと自己評価の分析から - 」第 13 回小学校英語教育学会沖縄大会. 琉球大学 (沖縄) 2013 年 7 月 14 日.

田中真紀子 (2013). 「小学校英語教育の教科化と文字指導のあり方について」神田外語大学児童英語教育研究センター第 4 回小学校英語教育講演会 『教科化を見据えて考える小学校英語教育と今後の展望』神田外語学院 (東京) 2013 年 9 月 14 日.

〔教員研修〕(計 24 件)

田中真紀子 (2016). 江戸川区小学校教育研究会外国語活動研究部研修. 「効果的な

文字(「読み」「書き」)の指導」江戸川区立船堀第二小学校. 2016 年 1 月 20 日.

田中真紀子 (2015). 東久留米市授業改善研究会外国語部会研修「小学校外国語活動の動向：教科化を見据えた指導内容」東久留米市第五小学校(東京)2015 年 12 月 2 日.

田中真紀子 (2015). 船橋市中学校教育研究協議会英語部会研修会「中学英語入門期の効果的な文字指導」神田外語大学(千葉) 2015 年 11 月 18 日.

田中真紀子 (2015). 江戸川区小学校英語活動英語部会研修. 「動物を使って教えるアルファベット指導法」江戸川区立西一之江小学校(東京) 2015 年 11 月 4 日.

田中真紀子 (2015). 江戸川区小学校英語活動英語部会研修. 「体を使った文字指導」江戸川区立清新第一小学校(東京) 2015 年 10 月 7 日.

田中真紀子 (2015). 「小学校英語教育の展開」教員免許状更新講習. 神田外語大学(千葉) 2015 年 8 月 25 日.

田中真紀子 (2015). 千葉県教育委員会主催小学校外国語活動中核教員養成研修「外国語活動の在り方・校内研修の在り方」(招聘講演)神田外語大学(千葉)2015 年 7 月 30 日.

河合裕美 (2015). 千葉県教育委員会主催小学校外国語活動中核教員養成研修「絵本の効果的な読み聞かせと外国語活動での応用 - Using stories in EFL classroom: whole teaching approach」(招聘講演)神田外語大学(千葉) 2015 年 7 月 31 日.

田中真紀子 (2015) 木更津市学び支援センター主催木更津夏季教職員研修「楽しく学ぶ小学校英語活動～授業の心得と実践的な指導」木更津市民総合福祉会館. 2015 年 7 月 29 日.

田中真紀子 (2015). 福井県教育委員会主催小学校教員研修. 「文字指導 1 : アルファベット文字の読みと音について」「文字指導 2 : 音韻認識能力向上を図る指導法」福井県国際交流会館(4 日～5 日)、美浜町生涯学習センターなびあす (6 日～7 日) (福井県) 2015 年 8 月 4 日～8 月 7 日

河合裕美 (2015). 福井県教育委員会主催小学校教員研修. 「効果的な音声指導のすすめ方 - チャンツや歌の指導法 - 」絵本の効果的な読み聞かせと外国語活動での応用 福井県国際交流会館 (4 日～5 日)、美浜町生涯学習センターなびあす (6 日

- ～7日)(福井県)2015年8月4日～8月7日.
- 田中真紀子 (2015). 東久留米市教育委員会授業改善研究会「小学校英語教育の動向 - 教科化を見据えて指導内容を改めて考える - 」東久留米市第十小学校(東京)2015年7月1日.
- 田中真紀子 (2015). 江戸川区小学校英語活動英語部会研修。「教科化を見据えて: 教員が身につけておくべき力・準備しておきたいこと」江戸川区立一之江小学校. 2015年6月10日.
- 田中真紀子 (2015).「小学校英語教育 - 教科化を見据えた文字指導」江戸川区小学校外国語活動部会(招聘講演)2015年1月21日. 江戸川区立上一色小学校.
- 田中真紀子 (2014).「小学校英語教育の展開」教員免許状更新講習. 神田外語大学(千葉)2014年8月25日.
- 田中真紀子 (2014).「辞書を使った文字指導」神田外語大学教育公開講座. 神田外語大学(千葉)2014年8月2日3日.
- 河合裕美 (2014).「子供の感性を大切にす
る英語教材の効果的な活用」神田外語大学教育公開講座. 神田外語大学(千葉)2014年8月2日3日.
- 田中真紀子「どうする?! これからの小学校外国語活動」木更津市教育委員会(招聘講演)木更津市民総合福祉会館. 2014年8月1日.
- 田中真紀子 (2014). 千葉県教育員会小学校外国語活動中核教員養成研修「アルファベットの指導法」神田外語大学(千葉)2014年7月29日.
- 河合裕美 (2014). 千葉県教育員会小学校外国語活動中核教員養成研修「効果的な音声指導の進め方 - 歌やチャンツの指導法 - 」神田外語大学(千葉). 2014年7月29日.
- 21 田中真紀子 (2013).「小学校英語教育の教科化と文字指導のあり方について」(講演)神田外語大学児童英語教育研究センター主催『第4回小学校英語教育講演会 - 教科化を見据えて考える小学校英語教育と今後の展望 - 』神田外語学院(東京)2013年9月14日.
- 22 田中真紀子 (2013).「小学校英語教育の展開」教員免許状更新講習. 神田外語大学(千葉)2013年8月27日.
- 23 田中真紀子 (2013). American Sign Language を使った音声及び文字指導(ワークショップ)神田外語大学教育公開講座. 神田外語大学(千葉)2013年8月2日・3日.
- 24 河合裕美 (2013).「英語のリズムを意識した授業 - コミュニケーション活動に言語活動を取り入れる工夫」神田外語大学教育公開講座. 神田外語大学(千葉)2013年8月2日・3日.
- 24 田中真紀子 (2013).「小学校英語授業の進め方」船橋市教育委員会・船橋市総合教育センター主催『平成25年度誰でも取り組める小学校英語科研修』船橋市総合教育センター(千葉)2013年7月24日.
- 〔図書〕(計2件)
- 田中真紀子 (2017年1月刊行予定).『小学校における文字と読みの指導』研究社(東京)約180.
- 田中真紀子・河合裕美 (2016).『小学校英語指導用教材』神田外語大学(千葉)217.
6. 研究組織
- (1)研究代表者
田中真紀子(TANAKA, Makiko)
神田外語大学・外国語学部・教授
研究者番号: 40236633
- (2)研究分担者
河合裕美(KAWAI, Hiromi)
(平成26年4月1日から)
神田外語大学・児童英語教育研究センター・講師
研究者番号: 10716434
- (3)研究分担者
本多正敏(HONDA, Masatoshi)
(平成26年3月31日まで)
筑波大学大学院人文社会科学研究科
芸・言語専攻 院生
- (4)研究協力者
佐々木星瑛来(SASAKI, Seira)